

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
衆議院議長 大島 理森 殿
参議院議長 山崎 正昭 殿

普天間基地の県外移設を求め、辺野古新基地建設に反対する

キリスト者有志の抗議声明

私たちは、沖縄県外に住むキリスト者の有志です。私たちは沖縄の人々の痛み、怒り、嘆き、そして、平和を求める声を聴くことによって、自分たちの無関心が、米軍兵士による性暴力、米軍機による騒音などを容認してきたこと、また、そこに沖縄に対する構造的暴力があることに気づかされ、いたたまれない気持ちになっています。私たちは主権者として、この国で起きていることの責任が自分たちの責任であることを自覚し、日本政府に対する抗議をここに表明します。

日本政府は現在、沖縄において、米軍基地の存続・増設への反対を非暴力的手段によって訴えている人々に対して、海上保安庁職員や東京の機動隊を動員し傷害を与えています。海上保安庁職員、機動隊職員は本来の役割を逸脱しています。辺野古新基地建設も、公有水面埋立法などに違反する違法行為です。

私たちキリスト者は、この自然界のすべてが神の創造の業によるものであり、人間の都合だけで破壊してよいものではないと信じています。また人間一人ひとりが、本来、「敵」「味方」の区別なく、人種、国籍を問わず、尊厳を持った存在です。それゆえ、私たちは、自然と人間を大切にし、資源の公平な分かち合いがなされる本当の正義と平和を求めています。

沖縄県外の住民である私たちは、自分たちが生きているそれぞれの場所で、沖縄県民からの問いかけや、呼びかけに対して、自分達自身の政治的、社会的、倫理的な責任を果すことによって、誠実に応答します。そのことはやがて、アジアの隣人たちと共に生きる未来を開き、真の平和を創り出すことになると私たちは信じます。

それゆえに、私たちは日本政府に対して、以下のことを求めます。

- 1 辺野古新基地建設によって、生活環境や自然環境の保全を図ることは不可能である、という沖縄県知事意見書（2011年）に対して回答すること。

- 2 「琉球諸島沿岸海岸保全計画」「生物多様性おきなわ戦略」を尊重し、生物多様性基本法や海岸法などを遵守し、公務員による暴力等、違法行為を直ちにやめること。
- 3 沖縄県民の声を謙虚に聞き、真の環境保全と平和への道をめざし、政策を転換し、普天間基地を県外に移設し、辺野古新基地建設を中止すること。

普天間基地の県外移設を求め、辺野古新基地建設に反対するキリスト者有志

秋山眞兄、荒瀬牧彦、遠藤潔、唐澤健太、汐碓直美、竹佐古真希、星出卓也、三村 修、
与那城初穂、岡田 仁、

(1月12日時点)